



公益財団法人日本スポーツ協会
会長 遠藤 利明

発刊に寄せて

世界的にも有名な活火山「桜島」や世界自然遺産「屋久島」「奄美大島・徳之島」などの雄大な自然と、世界文化遺産である「明治日本の産業革命遺産」を有する鹿児島県において開催された特別国民体育大会は、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、多くの成果と深い感動を残し、盛会裏にその幕を閉じました。

コロナ禍を経て、選手の皆様が制限なく競技に専念できる環境での開催となり、各地での盛り上がりは、スポーツが持つ力を改めて感じる事ができた大会でした。

開催に際し、第75回鹿児島国体の延期に伴う対応を含め、長きにわたり諸準備にご尽力をいただいた役員、係員、ボランティアの皆様、大会を応援いただいた鹿児島県民の皆様はもとより、ご支援をいただきました協賛社様、関係機関・団体の全ての皆様方に対し、心から感謝を申し上げます。

鹿児島県選手団の男女総合成績及び女子総合成績ともに第2位という成績は、第75回大会の中止以降も、地元開催に向けて努力し続けた鹿児島県の結束力が生んだ成果です。各競技で活躍された選手団の皆様に対し、心から贅辞をお贈りいたします。

この大会には、世界で活躍する多くのトップアスリートも郷土の代表として参加し、複数競技において大会新記録が誕生するなど、各都道府県の代表が繰り広げた熱戦は、スポーツの魅力を全国に発信し、最後の「国民体育大会」としてふさわしい大会となりました。

全国各地から参加された選手団や観客の方々は、鹿児島県の皆様からの心温まるおもてなしと熱い声援を受け、貴重な思い出を胸に帰郷されたことと思います。

選手の皆様には、この大会で得た貴重な経験を活かし、今後益々のご活躍により、スポーツがあらゆる人々に享受され、誰もが望む社会の実現に貢献いただくことを願っております。

結びに、この報告書が「燃ゆる感動かごしま国体」の貴重な記録として、また、大会の歴史の節目を飾るものとしても、今後のスポーツの推進に広く活用されますことを祈念し、発刊に寄せるあいさつといたします。



公益財団法人日本パラスポーツ協会

会長 森 和之

発刊に寄せて

秋篠宮皇嗣同妃両殿下、佳子内親王殿下、高円宮妃殿下の御臨席を賜り、特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」が、かくも盛大に開催できましたことを心より感謝申し上げます。

本大会は、「熱い鼓動 風は南から」をスローガンに、選手の皆さまは持てる力を発揮し、熱戦を繰り広げ、大変素晴らしい大会となりました。

また、ボランティアの方々をはじめ多くの方の温かいお心遣い、ご協力により大会運営も大変スムーズに進みました。参加された選手の皆さまは、本大会を通じ選手同士の交流や、鹿児島県民の皆さまとの交流も深められたものと思います。選手の皆さまには今後もスポーツを楽しみ、さらに自身の記録、限界に挑戦されることを期待いたします。

選手が競技に熱心に、ひたむきに取り組む姿は、大会を観戦された多くの皆様に勇気と感動を与え、パラスポーツへの理解を深めていただくことができたものと確信しております。この熱い気持ちを今後さらに全国へ広げて参りたいと思います。

当協会では、「2030年ビジョン」を策定し、「活力ある共生社会の実現」を目指しております。本大会を通じ、その実現に向け着実にパラスポーツの振興が進められるものと確信しております。

終わりに、鹿児島県民の皆さまの心温まるご支援に感謝申し上げますとともに、本大会の開催にあたりご尽力くださいました鹿児島県をはじめ多くの関係者の皆さまに心より厚く御礼申し上げます。

そして、多くの思い出に輝く「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会 報告書」が、今後、わが国のスポーツの普及・発展に役立つ貴重な資料として活用されますことを祈念し、発刊に寄せるあいさつといたします。



文部科学大臣

盛山 正仁

発刊に寄せて

「熱い鼓動 風は南から」をスローガンとして、豊かな自然の魅力にあふれ、悠久の歴史と文化が息づく鹿児島県において実施されました特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」及び特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」が、多くの成果と感動を残し、成功のうちに閉会しましたことを心からお喜び申し上げます。

これもひとえに、鹿児島県民の皆さまが、参加する全ての人をおもてなしの心で温かく迎える大会となるよう、県をあげて諸準備・運営に当たられた賜物であり、その御尽力に深く敬意を表します。

また、参加された選手の皆さまが、日頃鍛えた力と技を存分に発揮し、鹿児島県内各地で繰り広げられた熱戦の数々により、全国の皆さんへ、大きな感動とスポーツのすばらしさを伝えることができました。

当初2020年に開催予定であった本大会は、新型コロナウイルス感染症の影響で3年延期となりましたが、地元の多くの観客の大声援も後押しとなり、鹿児島県選手団の皆さんは目覚ましい活躍を遂げられました。

「燃ゆる感動かごしま国体」では鹿児島県は男女総合・女子総合とも第2位という成績を収め、前回大会から大躍進されるとともに、今後の競技力の維持・向上、県民のスポーツ振興に寄与する成果を残されました。「燃ゆる感動かごしま大会」では、過去最高の196個のメダルを獲得され、大会を盛り上げ、障害者スポーツの普及・発展に大いに寄与されました。これも、選手の皆さんと選手を支える方々の長年にわたる地道な御努力が結実したものであると思います。

今後、2024年パリオリンピック・パラリンピック競技大会をはじめ、様々な国際大会が開催されますが、今大会に出場された選手の中から、世界の舞台へ羽ばたくアスリートが数多く輩出されることを期待しております。

結びに、本報告書が、「燃ゆる感動かごしま国体」「燃ゆる感動かごしま大会」の足跡を示す記録として、また、我が国のスポーツの普及・発展に寄与する貴重な資料として、広く活用されることを祈念し、発刊に寄せる挨拶といたします。